

ホーム・アローン

クリスマス・シーズンによく放送される映画に「ホーム・アローン」があります。クリスマス休暇に出かける家族に忘れられて家に置き去りになった子どもの話ですが、ホーム・アローンとは「[子どもが] 家に独りで残されて」という意味だそうです。



子どもを忘れるなんて、と思われるでしょうが、実は子どもをうっかり忘れる事例は意外と多く、最近も保育園に送ったものと勘違いして、車に数時間置き去りになり、亡くなった事故が続きました。

朝の忙しい時間帯に、仕事など複数の用事に意識が向いて焦っている時にヒューマンエラーは起こりやすくなります。

同時に多くのことをしようとして「記憶マルチタスクモード」にあるときに、脳が誤動作を起こすわけです。人間は、忘れるもの、失敗するものという前提にたった対策が必要です。また、ヒューマンエラーは睡眠不足・疲労・焦りなどから起こりやすいので、気をつければ大丈夫などと過信せず、何重にもチェックする工夫が必要です。

たとえば自動車から降りるときは、子どもがいてもいなくても荷物があってもなくても、必ず後部座席を振り返るという行動を「習慣化」することは大切です。またチャイルドシートの横に貴重品を置くのも有効です。

最近「リアドアアラートシステム」を標準装備した車も現れました。「リアドアアラートシステム」とは、後部ドアのスイッチをモニターして、走行する前に後部ドアが開閉されたにもかかわらず、走行終了後に後部ドアが再び開かれなかったことが検知された場合、車両が駐車され、イグニッションがオフになった段階で警告メッセージが表示され、それでもドライバーが車両から離れた場合、自動的にクラクションが鳴り、ドライバーに後部座席を確認するよう促すとのこと。事故防止につながることを期待されています。

